

「地すべりの初生と評価に関する研究小委員会（第二期）」設立趣意

および委員公募のお知らせ

1. 設立の背景と目的

日本応用地質学会では、平成17年度に「地すべりの初生と評価に関する研究小委員会」を立ち上げました。委員会では、近年問題となっている過去に滑動の履歴のない初生地すべりについて、主に既往事例を収集・整理することにより、①地すべりの初生の認識と定義、②地すべりの運動様式による分類法、③地すべりの運動様式に応じた調査・解析法、④地すべりの現状安定性の評価法に関する調査・研究を行ってきました。これらの研究成果は、2010年度の日本応用地質学会シンポジウムにおいて公表し、ある程度の成果は達成することができたと考えています。

しかしながら、「初生地すべり」について、“地すべり面が概ね全面にわたって連結した時点”をもって初生地すべりの発生とする点、「地すべりの初生」について、“初生地すべりに至るまでの現象を幅広くとらえること”で概ねの一致を得たものの、シンポジウムにおける総合討論の結果を含め、初生地すべりに対しては未だ多様な意見および解釈があることが改めて問題認識されました。また、委員会においては、初生地すべりに関する定義および運動様式による分類法の一部については議論集約することができましたが、「地すべりの運動様式に応じた調査・解析法」「地すべりの安定性の評価法」などの課題については、まだ議論途上の課題となっています。これら取り組み途上の課題に関しては、最近発生した斜面災害事例のさらなる分析も踏まえ、地すべりの前駆現象の運動様式や変形進行過程、初生地すべりの発生メカニズムについて研究することにより、その調査解析、評価手法を確立させることが、今後の斜面災害に対する防災上必要不可欠な事項であると考えられます。

以上を背景として、「地すべりの初生と評価に関する研究小委員会」を発展、拡充させる形で第二期の委員会を設立し、初生地すべりに関する課題についての研究を継続することを計画するものです。この「地すべりの初生と評価に関する研究小委員会(第二期)」においては、第一期の研究小委員会の成果を十分活用し、事例研究による初生地すべりの現象およびそのメカニズムを明らかにするとともに、その結果に基づき、調査・計測方法を確立し、初生地すべりの安定性の評価法について言及することを具体的目標とします。

2. 活動目標

地すべりの初生と評価に関する研究小委員会(第二期)における活動目標として、次の項目を掲げます。

- (1) 初生地すべりの調査・計測方法の検討
- (2) 初生地すべりの安定性評価手法の検討

3. 委員会活動期間(予定)

2011年度～2013年度(3年間)

4. 研究成果の公表方法

- (1) 初生地すべりの調査・計測手法に関するシンポジウムの開催
- (2) 研究発表会等における発表

5. 委員構成

学会誌および学会ホームページにより委員を公募し、委員会を組織します。

委員長候補：長谷川修一(香川大学工学部教授)

委員予定数：約20名

6. 委員公募への申込方法等

申込方法：e-mail、Fax、郵送のいずれかによりお申し込み下さい。

申 込 先：日本応用地質学会事務局内

「地すべりの初生と評価に関する研究小委員会(第二期)」設立準備会

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 2-3-14 御茶ノ水桜井ビル

e-mail KYW04560@nifty.com Fax 03-3259-8233

委員公募期限：平成 23 年 2 月 10 日(木)

以 上